



練馬区議会議員

田中ひでかつ

- 常任委員会 区民生活委員会 委員
- 特別委員会 医療・高齢者等特別委員会 委員
- 各種委員会 情報公開および個人情報保護運営審議会 委員
練馬区光が丘病院運営連絡協議会 委員

ご相談は… 田中ひでかつ 事務所
〒179-0075練馬区高松1-9-7
Tel:03-3999-0792



世界都市農業サミットを開催へ!!

平成29年 第三回練馬区議会定例会 一般質問(要旨)

区政改革について

- Q1 区長自身の取り組みについての評価は。
A1 庁内の組織風土も少しずつ変わりつつあると実感している。
- Q2 事務事業の整理が区政の課題。所見は。
A2 見直しを努め持続可能な財政基盤の確立に取り組んでいく。
- Q3 区職員の定数管理で、今年度は増となっている状況の分析は。
A3 定年後フルタイムで働く再任用職員が増えたため。
- Q4 今後の職員定数や職種構成のあり方についての具体的な考えは。
A4 本年度中に職員の定数管理計画を策定し、職種構成の適正化と職員定数の削減を具体的に示していく。

子育て支援策について

- Q1 委託の残り10園の園名や実施時期を明らかにすべき。所見は。
A1 すでに公表し、説明会を実施している。早期に明らかにしていく。
- Q2 保育士と私立幼稚園教諭の処遇改善は必要。しかし、財政に与える影響は。
A2 国や都は保育士処遇改善を図るため、私立保育所に対する補助金を大幅に増額。区立の委託保育園についても実施する考え。毎年度4千万~5千万円程度の財政効果がある。
- Q3 「ねりまこども園」の人材確保は財政的に大きな影響がある。所見は。
A3 従来の国の交付金とともに、新たな東京都独自の補助制度を今年度から活用して充実をはかっている。今後も様々な支援を行って行く。
- Q4 待機児童対策と幼児教育、保育サービスの向上、そして経費の節減に取り組まれることを強く要望。いかがか。
A4 民間活力の更なる活用が不可欠。保育所待機児童の解消とともに、教育・保育サービスを選択できる環境の整備を進めていく。

光が丘病院の移転改築について

- Q1 病院を建設するには安全面、利便性に配慮すべき。見解は。
A1 改めて病院基本構想懇談会を開催し、病院改築に係る基本構想を検討する必要がある。
- Q2 学校跡施設活用検討会議で総合的な議論を行い、将来を見据えて新病院を建設すべき。所見は。
A2 将来にわたり最も区民の利益に資する活用策となるよう、様々な可能性について検討を行っている。

予算特別委員長に就任しました



高齢者介護施設について

- Q1 介護施設の利用状況と整備は。
A1 区内特別養護老人ホームは29施設で利用率は97%。介護老人保健施設は14施設で利用率は86%。優先的に整備を進める施設を第7期高齢者保健福祉計画・介護保健事業計画のなかで明らかにしていく。
- Q2 区が行った高齢者基礎調査で、スタッフの確保・育成が事業運営上の大きな課題。所見は。
A2 多方面からの支援の充実を検討していく。

小中学校における不登校について

- Q1 社会的に自立を促す方向に変更されたことへの捉え方は。
A1 学校への再登校を支援することが基本。状況に応じて様々な方策を用意するなど、柔軟に対応したい。
- Q2 不登校になった本人、親や家族への支援が必要。所見は。
A2 子供たちの状況に応じた学校復帰への支援や生活習慣の確立、社会性の獲得などに向けた取り組みを行っている。講演会を開催し、保護者への支援も実施している。

- Q3 民間活力は今後の不登校対策に生かされるのか。
A3 今後も民間指導者や民間団体の取り組みを活用する。
- Q4 区独自の不登校対策は。
A4 民間団体との連携を強める中で、多様なプログラムについても検討していく。

文化・芸術について

- Q1 「こどもアートアドベンチャー」参加者の意見や感想との評価は。また今後の継続は。
A1 高評価であった。次代を担う子どもたちが文化芸術に興味や関心をもつきかとして効果があった。来年度の実施を含め、今後検討していく。
- Q2 天候のため中止となった「スペシャルジャズライブ」を、区内の行事で演奏していただけないか。所見は。
A2 今後検討していく。

国際友好都市について

- Q1 友好都市の海淀区との友好と連携を深め方は。
A1 お互いの立場を理解し、友情を深めることが目的。自治体間、市民同士の草の根の交流を進めることが肝要。
- Q2 区からも訪問団を派遣すべき。
A2 今後、訪問団の派遣も含め検討していく。

世界都市農業サミットについて

- Q1 各国、各都市との交渉や、綿密な打ち合わせの進め方は。また、外務省や東京都に協力依頼の現状の取り組みは。
A1 区長、学識経験者、農業者、農業関係団体代表者等で構成する実行委員会で検討を進めている。招聘都市との交渉にあたり、外務省や東京都には、窓口となる担当者の紹介や都市情報の提供に協力して頂いている。

田中ひでかつ プロフィール

昭和45年 9月18日生まれ O型
昭和58年 3月 高松小学校卒業
昭和61年 3月 練馬中学校卒業
平成 元年 3月 巣鴨商業高校卒業
平成 5年 3月 国土館大学政経学部中退
平成 5年 5月 元国務大臣河本敏夫秘書
平成 8年10月 衆議院議員河本三郎秘書
平成 11年 4月 区議会議員選挙立候補 落選

平成 11年 8月 宇都宮市長(現栃木県知事) 福田富一氏のもとで地方行政について学ぶ
平成 15年 4月 区議会議員選挙初当選
平成 26年 6月 練馬区議会自民党 幹事長
平成 27年 2月 練馬区 監査委員 当選4回
平成 28年 6月 第68代 練馬区議会 議長
●練馬区レスリング連盟会長●梁山泊空手道連合理事
●光が丘消防団第一分団団員●青少年育成第四地区委員会顧問

趣味：読書 散歩 料理 子育て ソフトテニス
尊敬する人：豊臣秀吉 司馬遼太郎
家族：妻・長男・次男・長女・三男・母・犬
好きな食べ物：好き嫌いはありませんがピータンは食べません
信条・好きな言葉：明鏡止水 やまない雨はない